

三重ガラスで

超高断熱

「世界に一つしかない住まいづくり」を目指す「住まいのウチイケ」は、超高断熱で暖房費を抑え、環境にも優しい「日本一のエコハウス」の施工を全棟で進めている。住まいのウチイケのオリジナリテイあふれる住まいづくりについて、内池秀光社長に聞いた。

「エコハウスの基本スタイルは。」

「地球温暖化対策が求められる中で、日常生活のエネルギー消費を抑える仕組みを基本性能として持っています。暖房など使用するエネルギーをダイレクトし、結果としてCO₂の削減につながることを目的としています。基本性能の向上により、災害などの非常時にも強い住宅となっております。住宅の省エネは設備で行われることが多いですが、住宅設備はどんどん進化します。しかし、住宅本体の性能は、建築時から変わることはいけません。100年以上の耐久性がある住宅が、低い性能が良いはずがありません。住宅本体の基本性能は100年間耐える性能でなければならぬと思います。」

「具体的にどんな特徴がありますか？」

「窓にトリプルガラスを標準採用したことによる断熱性の向上です。窓などの開口部から逃げる熱は、住宅全体から逃げる熱の3/4割を占めると言われています。窓ガラスは住宅の熱の逃げ道となっているんです。住宅の断熱性向上には、壁の断熱材を厚くしたり高性能化するのが一般的ですが、窓ガラスの性能が低ければ、いくら断熱材を強化しても窓からどんどん熱が逃げてしまいます。家の断熱性能を高めるには、窓ガラスの高性能化が必須です。」

「当社が標準採用しているガラスは三重構造になっています。ガラスの枚数が増えると空気層のおかげで断熱性が高まるのですが、空気よりも断熱性が高いアルゴンガスも封入しています。表面は熱を反射するLOW-Eコーティングを施し、夏は日射熱を抑え、紫外線を防止、冬には室内の暖房熱を逃がさない効果があります。」

「高い断熱性の確保には壁と窓、双方の強化が必要なんですか。」

「それが冷暖房に必要なエネルギー消費を大幅に抑えるのです。」

「さらに、平成14年の建築基準法改正で24時間換気システムの設置が義務付けられましたが、当社は省エネ型の熱交換換気システムの採用を始めました。これまでは割高になるため標準採用を見送ってきま

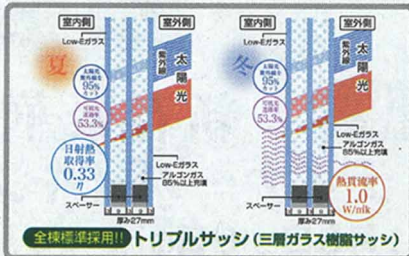
「さらに、平成14年の建築基準法改正で24時間換気システムの設置が義務付けられましたが、当社は省エネ型の熱交換換気システムの採用を始めました。これまでは割高になるため標準採用を見送ってきま

トップランナー基準に適合します。

エコハウスは、太陽熱や生活で出た熱だけで室内が暖まります。冬の天気の良い日は、南面の窓から入る太陽熱だけで室温が30度を超えることもあります。この太陽熱を基礎断熱（セルボード120mm）をして床下コンクリートなどに蓄熱し、外壁ガラスウール（230mm相当）、天井ブローイング（400mm）、さらにトリプルガラスの超高断熱仕様で逃がさないように蓄えています。」

「エコハウスが持つ基本性能の高さがよく分かりました。」

「家本体がこのような基本性能を持つことで、11月の西胆振大停電のような非常時に、暖房が使えなくなっても室温が下がりにくく、快適に過ごすことができます。エコハウスは災害などでエネルギーが一時的にストップしても、寒くない、サバイバルホームとして大活躍します。しかも冬の太陽熱だけではなく、夏の夜の冷気も蓄えることができます。住まいのウチイケのエコハウスは冬暖かく、夏涼しい大きな魔法瓶のような、夢みだいな住宅です。これからも住まいのウチイケは日本一のエコハウスを目指し挑戦していきます。」



住まいのウチイケ代表取締役
兼建築士 内池 秀光



We build your dream
住まいのウチイケ

■本社
室蘭市八丁平5丁目44-5
☎ 0143 (42) 4118

■苫小牧支店
苫小牧市三光町2丁目2-10
☎ 0144 (38) 3718

住まいのウチイケ
検索
<http://www.uchiike-home.co.jp>

携帯サイトも公開中!
左記QRコードでアクセス!

842 FM
住まいのウチイケは
FM842に放送中!